

9. 小児科学分野

研究テーマ	食物アレルギーの新規治療法の開発
研究担当者	医学系部門 小児科学分野 <u>大嶋 勇成</u>
概要	近年、食物アレルギーの患者数の増加が問題となっている。食物アレルギーの治療原則は、原因食物の除去であるが、食物除去を行うことは患者と家族の負担が大きく、誤食による症状誘発の危険がある。現在、極少量から経口的に原因食物を摂取させる経口免疫療法が試みられてはいるが、アレルギー症状の誘発は必発である。本研究では、貼付薬、外用剤をデバイスとして利用し、食物抗原をナノ粒子に封入して経皮的に投与するとともに、免疫療法の効果を調整するアジュバントもナノ粒子を利用して経皮的に投与することで、安全で効果的な免疫療法を開発することを目的としています
キーワード	免疫療法、ナノ粒子、外用剤
適用分野	アレルギー
関連企業	化学薬品、化粧品